

# 重点施策個別表

3-1

推進目標						
3	市民の学習環境の充実					
重点施策						
1	学社連携・融合事業の推進	担当課(館)				
	① 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業の推進	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」及び文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」を実施し、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供していく。事業は市内19小学校全学区で実施している。 「放課後児童健全育成事業」の窓口を一本化することにより、市民サービスの向上と、事務の効率化が図られるとして、平成21年度から生涯学習課の所管にした。 各施設の登録者数の適正化と活動内容の平均化及び不公平感是正のための有料化が懸案事項である。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>市内19小学校全学区において、「放課後児童クラブ」又は「放課後子ども教室」を開設し、放課後児童の居場所づくりを実施している。今年度から「放課後児童健全育成事業」を生涯学習課の所管として、窓口を一本化することにより、市民サービスの向上と事務の効率化が図られた。 なお、有料化については、地域の実状や同じ施設内で行われている、他の事業との兼合いなどを考慮しながら検討中である。</td> </tr> </table>	活動内容	厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」及び文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」を実施し、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供していく。事業は市内19小学校全学区で実施している。 「放課後児童健全育成事業」の窓口を一本化することにより、市民サービスの向上と、事務の効率化が図られるとして、平成21年度から生涯学習課の所管にした。 各施設の登録者数の適正化と活動内容の平均化及び不公平感是正のための有料化が懸案事項である。	自己評価	市内19小学校全学区において、「放課後児童クラブ」又は「放課後子ども教室」を開設し、放課後児童の居場所づくりを実施している。今年度から「放課後児童健全育成事業」を生涯学習課の所管として、窓口を一本化することにより、市民サービスの向上と事務の効率化が図られた。 なお、有料化については、地域の実状や同じ施設内で行われている、他の事業との兼合いなどを考慮しながら検討中である。	
活動内容	厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」及び文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」を実施し、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供していく。事業は市内19小学校全学区で実施している。 「放課後児童健全育成事業」の窓口を一本化することにより、市民サービスの向上と、事務の効率化が図られるとして、平成21年度から生涯学習課の所管にした。 各施設の登録者数の適正化と活動内容の平均化及び不公平感是正のための有料化が懸案事項である。					
自己評価	市内19小学校全学区において、「放課後児童クラブ」又は「放課後子ども教室」を開設し、放課後児童の居場所づくりを実施している。今年度から「放課後児童健全育成事業」を生涯学習課の所管として、窓口を一本化することにより、市民サービスの向上と事務の効率化が図られた。 なお、有料化については、地域の実状や同じ施設内で行われている、他の事業との兼合いなどを考慮しながら検討中である。					
	② 学校支援地域本部事業の推進(継続)	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>文部科学省から県への委託事業で、市町村へ再委託するもの。地域の教育力を学校教育へ活用し、地域ぐるみで子どもを育む環境を整備する。学区に設置される「学校支援地域本部事業」の推進を継続する。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>5学区(4小学校、2中学校)で事業を継続しており、各本部とも、環境整備、学習支援、部活動支援などに地域の教育力を大いに活用している。正課クラブなどにエキスパートをお願いすることで、子どもたちの反応もよく、地域の活性化が図られるなど成果が現われている。</td> </tr> </table>	活動内容	文部科学省から県への委託事業で、市町村へ再委託するもの。地域の教育力を学校教育へ活用し、地域ぐるみで子どもを育む環境を整備する。学区に設置される「学校支援地域本部事業」の推進を継続する。	自己評価	5学区(4小学校、2中学校)で事業を継続しており、各本部とも、環境整備、学習支援、部活動支援などに地域の教育力を大いに活用している。正課クラブなどにエキスパートをお願いすることで、子どもたちの反応もよく、地域の活性化が図られるなど成果が現われている。	
活動内容	文部科学省から県への委託事業で、市町村へ再委託するもの。地域の教育力を学校教育へ活用し、地域ぐるみで子どもを育む環境を整備する。学区に設置される「学校支援地域本部事業」の推進を継続する。					
自己評価	5学区(4小学校、2中学校)で事業を継続しており、各本部とも、環境整備、学習支援、部活動支援などに地域の教育力を大いに活用している。正課クラブなどにエキスパートをお願いすることで、子どもたちの反応もよく、地域の活性化が図られるなど成果が現われている。					
	③ 訪問型家庭教育相談体制充実事業の実施(新規)	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>文部科学省から県への委託事業で、市町村へ再委託する事業として、「家庭教育支援チーム」を設置し、支援チームが家庭や企業等を訪問して家庭教育支援(相談対応や意識啓発)に取り組む。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>「家庭教育支援チーム」の子育てサポーターリーダーを中心に、「しゃべり場」を開設して、子育て中の母親などの育児不安の解消に努めている。 関係機関との連携や企業訪問などで、家庭教育支援に取り組んでおり、相談体制の充実が図られた。</td> </tr> </table>	活動内容	文部科学省から県への委託事業で、市町村へ再委託する事業として、「家庭教育支援チーム」を設置し、支援チームが家庭や企業等を訪問して家庭教育支援(相談対応や意識啓発)に取り組む。	自己評価	「家庭教育支援チーム」の子育てサポーターリーダーを中心に、「しゃべり場」を開設して、子育て中の母親などの育児不安の解消に努めている。 関係機関との連携や企業訪問などで、家庭教育支援に取り組んでおり、相談体制の充実が図られた。	
活動内容	文部科学省から県への委託事業で、市町村へ再委託する事業として、「家庭教育支援チーム」を設置し、支援チームが家庭や企業等を訪問して家庭教育支援(相談対応や意識啓発)に取り組む。					
自己評価	「家庭教育支援チーム」の子育てサポーターリーダーを中心に、「しゃべり場」を開設して、子育て中の母親などの育児不安の解消に努めている。 関係機関との連携や企業訪問などで、家庭教育支援に取り組んでおり、相談体制の充実が図られた。					
	④ 達人講座の継続実施	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>文部科学省の委託事業である、「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業が平成20年度で終了した。 この事業を活用して開催した「達人講座」の受講者から、事業の継続要望があり、講座を開設してくれた団体等に要請したところ、22講座を自主的に継続実施している。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>平成20年度で文部科学省の委託事業が終了したが、今年度も地域の達人が、昨年度と同数の22講座を自主的に開設し、391人の子どもたちが登録して様々な活動をするなど、地域の教育力の活用が図られた。</td> </tr> </table>	活動内容	文部科学省の委託事業である、「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業が平成20年度で終了した。 この事業を活用して開催した「達人講座」の受講者から、事業の継続要望があり、講座を開設してくれた団体等に要請したところ、22講座を自主的に継続実施している。	自己評価	平成20年度で文部科学省の委託事業が終了したが、今年度も地域の達人が、昨年度と同数の22講座を自主的に開設し、391人の子どもたちが登録して様々な活動をするなど、地域の教育力の活用が図られた。	
活動内容	文部科学省の委託事業である、「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業が平成20年度で終了した。 この事業を活用して開催した「達人講座」の受講者から、事業の継続要望があり、講座を開設してくれた団体等に要請したところ、22講座を自主的に継続実施している。					
自己評価	平成20年度で文部科学省の委託事業が終了したが、今年度も地域の達人が、昨年度と同数の22講座を自主的に開設し、391人の子どもたちが登録して様々な活動をするなど、地域の教育力の活用が図られた。					

# 重点施策個別表

3-2

推進目標	
3	市民の学習環境の充実
重点施策	
2	青少年の健全育成と地域活動の支援
	担当課(館)
①	大館市青少年問題協議会の活動の充実
	生涯学習課
活動内容	大館市青少年健全育成推進方針を策定し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚、環境整備など様々な活動を通し、青少年健全育成を図る。 ○7月4日「青少年を非行から守る市民のつどい」 「第59回社会を明るくする運動」
自己評価	関係機関や団体と連携しながら、「青少年を非行から守る市民のつどい」「社会を明るくする運動」を開催して、市民の意識高揚を図り、青少年を取りまく環境整備・浄化が促進された。
②	少年相談センターの活動の充実
	生涯学習課
活動内容	運営協議会委員、補導員、学校など関係機関と連携し、学校訪問、合同巡回等、青少年健全育成のための環境維持に努める。
自己評価	センターにおける相談活動や、関係機関・関係者との定期的な協議、補導員との合同巡回などを行うなどし、青少年が抱える問題の解決と環境の維持ができた。
③	関係機関への補助金交付による支援
	生涯学習課
活動内容	青少年育成大館市民会議、子ども会育成連合会など関係団体への補助金交付により、その活動を支援する。
自己評価	青少年育成大館市民会議、子ども会育成連合会のほか、ボーイスカウト秋田第4団、大館地区少年保護育成委員会、大館鳳鳴高等学校振興会など、社会教育に関わる団体に補助金を交付し、その活動を支援した。 しかし、交付額の減額から活動内容などの再検討が求められている。
④	公民館事業における青少年健全育成の取り組み
	中央公民館
活動内容	小学生を対象に、土曜日や夏休みなどの休日を利用した青少年健全育成事業を行う。 ○わんぱくスクール～自然に親しみ、他校児童との交流を通し集団活動の大切さを学ぶ。 ○夏休み親子スクール～親同志の交流により家庭教育を学びあい、親子のふれあいを深める。 ○夏休み将棋スクール～日本の伝統ゲームを学び、対局を通して他校との交流、友達づくりを図る。
自己評価	わんぱくスクールは、新型インフルエンザの感染拡大のため2回の休校があり、予定された回数を行うことができなかったが、子供同士の交流が生まれたことや、体験型学習が好評であった。 夏休み将棋スクールは参加者も多く盛況で、参加者同士で良好な友人関係をつくることができた。 夏休み親子スクールは参加申込者が少なかつたため、今年度は開催できなかった。 今後、事業内容の見直しや周知方法の検討が必要である。

# 重点施策個別表

3-3-1

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
3	市民の生きがいづくりの推進と生涯学習ボランティア活動者登録と活用		担当課(館)
	① 社会教育委員の活動の充実		生涯学習課
	活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、社会教育全般の運営を行う。 平成20年度からは、教育委員会点検・評価への意見・提言を行っている。	
	自己評価	平成20年度からは、教育委員会点検・評価への意見・提言を行っており、社会教育全般に対する指導・助言のほかに、研修会の参加や、実践発表などの活動を行った。	
	② 生涯学習推進協議会委員、生涯学習奨励員の活動の充実		生涯学習課
	活動内容	関係団体相互の連携をとりながら、「だれでも・いつでも・どこでも・なんでも」出来る生涯学習の推進充実を図る。	
	自己評価	生涯学習推進協議会委員には、それぞれの立場から生涯学習推進事業などへの指導・助言、意見をいただいた。 生涯学習奨励員は、生涯学習フェスティバルへの参加、各種研修等による自己研鑽、個々の活動による生涯学習の推進に努めた。 今後、関係団体との連携をとりながら、より充実した活動が望まれる。	
	③ 「おおだて人財名簿」の充実と活用		生涯学習課
	活動内容	特技や知識をもつ市民を、学習ボランティアとして募集・登録し、学校や公民館などの関係機関に紹介し、学習活動に活用してもらう。	
	自己評価	市民の学習活動やボランティアなどの人材活用に機能しており、今年度は173名が登録。 更新時に活動実績を調査したところ、84名、294件の実績が報告された。	
	④ 出前講座の充実と活用		生涯学習課
	活動内容	市民の身近な問題や市政情報など、市民の要望により提供し、ともに「まちづくり」をすすめる。	
自己評価	市民の学習活動や市の情報提供に活用され、今年度は39講座。1月末現在で、68件、2125人の参加者があり、昨年度と同様の実績になっている。 町内会、老人クラブ、学校の総合学習など幅広く活用された。		

# 重点施策個別表

3-3-2

推進目標						
3	市民の学習環境の充実					
重点施策						
3	市民の生きがいがづくりの推進と生涯学習ボランティア活動者登録と活用	担当課(館)				
	⑤ 生涯学習フェスティバルの実施	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td> <p>広く市民に対し、生涯学習に関する実践活動や理解する機会を提供し、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高める。</p> <p>9、10月を生涯学習強調月間、9月26、27日をメイン開催日とし、中央公民館をはじめとする社会教育関連施設等を会場に、協賛を含む約20の事業を行う予定。</p> </td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td> <p>19回目の開催となるが、今年も生涯学習実践発表の場となった。</p> <p>新しい企画もあるが、他のイベントと輻輳する時期のため、参加者の減少が課題となった。</p> </td> </tr> </table>	活動内容	<p>広く市民に対し、生涯学習に関する実践活動や理解する機会を提供し、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高める。</p> <p>9、10月を生涯学習強調月間、9月26、27日をメイン開催日とし、中央公民館をはじめとする社会教育関連施設等を会場に、協賛を含む約20の事業を行う予定。</p>	自己評価	<p>19回目の開催となるが、今年も生涯学習実践発表の場となった。</p> <p>新しい企画もあるが、他のイベントと輻輳する時期のため、参加者の減少が課題となった。</p>	
活動内容	<p>広く市民に対し、生涯学習に関する実践活動や理解する機会を提供し、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高める。</p> <p>9、10月を生涯学習強調月間、9月26、27日をメイン開催日とし、中央公民館をはじめとする社会教育関連施設等を会場に、協賛を含む約20の事業を行う予定。</p>					
自己評価	<p>19回目の開催となるが、今年も生涯学習実践発表の場となった。</p> <p>新しい企画もあるが、他のイベントと輻輳する時期のため、参加者の減少が課題となった。</p>					
	⑥ 大学公開講座の実施	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td> <p>秋田看護福祉大学による公開講座。市民の日常生活にかかわりの深い福祉について、多角的で分かりやすい講義を実施し、市民の多様化・高度化する学習への要望に応える。</p> <p>7月14～16日の三日間実施。</p> </td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td> <p>介護など福祉をテーマに開講した。時代に適合したテーマを取り上げているが、受講者の固定化と減少傾向があり、講座開催について再検討の必要がある。</p> </td> </tr> </table>	活動内容	<p>秋田看護福祉大学による公開講座。市民の日常生活にかかわりの深い福祉について、多角的で分かりやすい講義を実施し、市民の多様化・高度化する学習への要望に応える。</p> <p>7月14～16日の三日間実施。</p>	自己評価	<p>介護など福祉をテーマに開講した。時代に適合したテーマを取り上げているが、受講者の固定化と減少傾向があり、講座開催について再検討の必要がある。</p>	
活動内容	<p>秋田看護福祉大学による公開講座。市民の日常生活にかかわりの深い福祉について、多角的で分かりやすい講義を実施し、市民の多様化・高度化する学習への要望に応える。</p> <p>7月14～16日の三日間実施。</p>					
自己評価	<p>介護など福祉をテーマに開講した。時代に適合したテーマを取り上げているが、受講者の固定化と減少傾向があり、講座開催について再検討の必要がある。</p>					
	⑦ 公民館事業における生涯学習への取り組み	中央公民館				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td> <p>生きがいがづくり推進のため、市民向けの講座を開催する。</p> <p>「老壮大学」「パソコン講座」</p> <p>生涯学習フェスティバル参加への支援、協力</p> <p>各サークルの作品展示、発表に対し積極的な支援、協力を行う。</p> </td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td> <p>生きがいがづくりの場として老壮大学の講座への参加希望者は多く、現在303名が在籍し参加している。</p> <p>しかし、在籍会員の高齢化が進み年々受講生が減少していることが課題となっている。</p> <p>パソコン講座は人気講座で常に定員状態であった。初心者の受け皿として定着していることから今後も継続していきたい。</p> <p>生涯学習フェスティバルでは、参加に対し積極的なサークルが多い反面、固定化が見られるため、今後、参加者の拡大を図る必要がある。</p> </td> </tr> </table>	活動内容	<p>生きがいがづくり推進のため、市民向けの講座を開催する。</p> <p>「老壮大学」「パソコン講座」</p> <p>生涯学習フェスティバル参加への支援、協力</p> <p>各サークルの作品展示、発表に対し積極的な支援、協力を行う。</p>	自己評価	<p>生きがいがづくりの場として老壮大学の講座への参加希望者は多く、現在303名が在籍し参加している。</p> <p>しかし、在籍会員の高齢化が進み年々受講生が減少していることが課題となっている。</p> <p>パソコン講座は人気講座で常に定員状態であった。初心者の受け皿として定着していることから今後も継続していきたい。</p> <p>生涯学習フェスティバルでは、参加に対し積極的なサークルが多い反面、固定化が見られるため、今後、参加者の拡大を図る必要がある。</p>	
活動内容	<p>生きがいがづくり推進のため、市民向けの講座を開催する。</p> <p>「老壮大学」「パソコン講座」</p> <p>生涯学習フェスティバル参加への支援、協力</p> <p>各サークルの作品展示、発表に対し積極的な支援、協力を行う。</p>					
自己評価	<p>生きがいがづくりの場として老壮大学の講座への参加希望者は多く、現在303名が在籍し参加している。</p> <p>しかし、在籍会員の高齢化が進み年々受講生が減少していることが課題となっている。</p> <p>パソコン講座は人気講座で常に定員状態であった。初心者の受け皿として定着していることから今後も継続していきたい。</p> <p>生涯学習フェスティバルでは、参加に対し積極的なサークルが多い反面、固定化が見られるため、今後、参加者の拡大を図る必要がある。</p>					

# 重点施策個別表

3-4

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
4	地域や団体等の活動を促進、支援		担当課(館)
	① 補助金交付による支援		生涯学習課
	活動内容	大館市連合婦人会(女性の地位向上・地域連帯強化)、大館市芸術文化連盟(芸術文化の創作発展)等への補助金交付により、その活動を支援する。	
	自己評価	大館市連合婦人会、大館市芸術文化連盟のほかに、比内町芸術文化協会と田代地区芸術文化協会へ補助金を交付した。 しかし、交付額の減額から、活動内容などの再検討が求められている。	
	② 公民館事業における地域支援		中央公民館
	活動内容	地区公民館、分館への予算配分及び活動事業の支援・指導の実施 地区ごとに特徴ある公民館活動を行うため、事業費の効率的な配分を行い、地域の活性化に資する。	
自己評価	各地区公民館の活動は予算的な制約もあり、地域住民にも一部財政的な協力をお願いした。 その様な状況下、地域の特色ある事業展開が行われ、概ね良好な活動を維持した。 今年度から暖房費の実費負担をお願いしたが、地域住民の理解もあり大きな混乱もなかった。		

# 重点施策個別表

3-5

推進目標		
3	市民の学習環境の充実	
重点施策		
5	図書館活動の推進と充実	担当課(館)
	① 図書館情報システムの整備促進	中央図書館
	活動内容	老朽化した中央図書館の図書館情報システムを更新するとともに、田代図書館への同システムの導入のために蔵書データ入力を進める。
	自己評価	中央図書館の図書館情報システムは、事前研修等を行い8月から本稼動を行った。現在、大きなトラブルもなく稼動している。また、田代図書館の蔵書データ入力は、緊急雇用対策事業などを活用し約17000冊分のデータ入力を実施できた。 来年度以降も引き続き計画的に進めたい。
	② 蔵書管理の推進	中央図書館
	活動内容	昨年度実施した花矢図書館の蔵書点検結果を踏まえ、市内全図書館で蔵書点検を実施し、正確な蔵書数を把握する。
	自己評価	市内全図書館で蔵書点検を実施した。また、蔵書点検と併せて、廃棄もしくは今後活用されないと判断される図書の整理も行った。 今後も毎年蔵書点検を実施し蔵書管理を徹底したい。
	③ 図書館資料の充実	中央図書館
	活動内容	市民、団体等へ図書の寄贈を働きかけ蔵書の充実を図るとともに、市内の図書館はもちろん県立図書館などとの連携により相互貸借を進め、市民のニーズに応える。
	自己評価	図書館後援会への協力依頼やポスターの掲示などを行い、約400冊の寄贈図書を図書館の蔵書とし、さらに図書購入のための寄附もあり蔵書の充実は図られた。相互貸借についても、県立図書館からテーマごとに借りるなどの新たな試みも行った。
	④ 読書活動推進事業の展開	中央図書館
	活動内容	できるだけ早い時期から「本に親しむ」習慣をつけるため、ボランティアと連携した「読み聞かせ会」やブックスタート事業の充実を図るとともに、地域や図書館の特色を生かした事業を展開する。
	自己評価	市内全図書館で「読み聞かせ会」を実施するとともに、文化講演会や読書感想画展など地域や図書館の特色を生かした事業を実施した。今後もボランティアを生かした特色ある事業を進めたい。
	⑤ 本と親しめる場の拡大	中央図書館
	活動内容	今後活用されないと判断する蔵書や寄贈図書のうち図書館として活用できないものについては、市内の他施設へ提供し「本と親しめる場」の充実・拡大を進める。
	自己評価	緊急雇用対策事業や県の「子ども読書夢プラン事業」を活用し、今後活用しないと判断した蔵書や寄贈書を市立病院や学校、社会教育施設等へ提供した。今後も「本と親しめる場」の充実と拡大を進めたい。

# 重点施策個別表

3-6

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
6	芸術文化の振興を図るための鑑賞機会の提供		担当課(館)
	① 市民文化会館主催事業への協力		生涯学習課
	活動内容	主催事業の広報、参加の呼びかけ等の協力。	
	自己評価	主催事業などの入場者が、平成17年度をピークに減少傾向にあるため、様々な機会を利用して関係機関や団体などに対し広報、参加の呼びかけを行った。	
	② 「本物の舞台芸術体験事業」の展開		生涯学習課
	活動内容	文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」の開催にあたり、市内各小中学校への事業周知や申請手続き等の支援を行う。	
	自己評価	今年度は、東中学校のオペラ(カルメン)が採択され、9月に上演された。本格的な芸術を鑑賞する機会が希少なため、生徒や保護者のオペラに対する評価は高く、次回開催の要望も多数あった。今後も、事業周知と申請手続きなどの支援を行う。	
	③ 公民館事業における芸術文化の振興		中央公民館
	活動内容	関連サークル等への活動の場を提供し、作品展示や学芸発表への支援、協力をを行う。	
自己評価	中央公民館をはじめ地区館でのサークル活動は、地域による違いはあるものの概ね順調に活動を継続した。公民館主催の文化祭や各事業への参加も順調であった。		

# 重点施策個別表

3-7

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
7	文化財の利活用及び保護と調査の推進		担当課(館)
	① 埋蔵文化財調査		郷土博物館
	活動内容	茂木屋敷跡発掘調査を6月～11月にかけて実施する。 埋蔵文化財詳細分布調査の実施(国庫補助事業)6月～12月、5ヶ月前後(開発申請によって不定)。	
	自己評価	埋蔵文化財詳細分布調査は上代野・赤川・味噌内・川口立花・小坪沢・白沢水沢・中野・鍛冶屋敷の市内8カ所で予定どおり実施した。 茂木屋敷跡発掘調査は天候不順で予定から遅れが生じたが、全体の4分の1の精査を終えた。 発掘が進むにつれ、調査範囲内に年代の異なる複数の建物跡が発見されたことから、平成22年度も引き続き調査を実施し残りの精査を完了させることとした。	
	② 秋田三鶏記念館の運営		郷土博物館
	活動内容	秋田三鶏記念館の建設に伴う管理運営方針の確立。設置条例の制定。	
自己評価	施設の管理については、市が運営、三鶏の孵化、育すうは三鶏保存会へ委託。管理運営を多角的見地から行えるよう「秋田三鶏記念館運営審議会」を設置することを運営方針とし、12月定例議会で条例を制定し設置、委員を委嘱し、方針を決定した。		



# 重点施策個別表

3-8

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
8	生涯学習にかかる広報活動の充実		担当課(館)
	① 生涯学習にかかる広報活動の充実		生涯学習課
	活動内容	ポスターやチラシの配布のほか、市長の記者会見や、広報等を活用し、生涯学習講座事業など生涯学習にかかる情報を広く市民に周知する。	
自己評価	ポスターやチラシの配布、市長の記者会見や広報のほか、市や教育委員会のホームページなど、あらゆる広報手段を活用して、事業開催の案内などを市民に発信した。 また、学生を対象にした事業については、学校を通じて参加を呼びかけるなど、その周知に努めた。		

# 重点施策個別表

3-9

推進目標						
3	市民の学習環境の充実					
重点施策						
9	体育・レクリエーション事業の振興	担当課(館)				
	① スポーツ課事業	スポーツ課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>                     次の体育・レクリエーション事業を主催し、市民が気軽にスポーツに親しみ、交流する機会を設定する。また、メタボ対策に関する事業を計画し、実施する。                      ・ウォーキングデー大館大会 (6月)                      ・グリアス田代バレーボール教室(8月～10月)                      ・市民スポーツレクリエーション祭(10月)                      ・(仮称)メタボ解消体操(10月頃)                      ・グリアススポレクフェスティバル (1月)                 </td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>                     例年実施している体育・レクリエーション事業については予定どおり実施した。                      新規計画事業のメタボ解消体操を、健康推進課が実施している事業に共催し、1月以降実施する軽体操事業にメタボ解消事業として宣伝等の協力をした。                 </td> </tr> </table>	活動内容	次の体育・レクリエーション事業を主催し、市民が気軽にスポーツに親しみ、交流する機会を設定する。また、メタボ対策に関する事業を計画し、実施する。 ・ウォーキングデー大館大会 (6月) ・グリアス田代バレーボール教室(8月～10月) ・市民スポーツレクリエーション祭(10月) ・(仮称)メタボ解消体操(10月頃) ・グリアススポレクフェスティバル (1月)	自己評価	例年実施している体育・レクリエーション事業については予定どおり実施した。 新規計画事業のメタボ解消体操を、健康推進課が実施している事業に共催し、1月以降実施する軽体操事業にメタボ解消事業として宣伝等の協力をした。	
活動内容	次の体育・レクリエーション事業を主催し、市民が気軽にスポーツに親しみ、交流する機会を設定する。また、メタボ対策に関する事業を計画し、実施する。 ・ウォーキングデー大館大会 (6月) ・グリアス田代バレーボール教室(8月～10月) ・市民スポーツレクリエーション祭(10月) ・(仮称)メタボ解消体操(10月頃) ・グリアススポレクフェスティバル (1月)					
自己評価	例年実施している体育・レクリエーション事業については予定どおり実施した。 新規計画事業のメタボ解消体操を、健康推進課が実施している事業に共催し、1月以降実施する軽体操事業にメタボ解消事業として宣伝等の協力をした。					
	② 公民館事業における健康づくり	中央公民館				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>                     地区公民館運動会の開催                      地域住民の健康維持及び世代間交流に資するため、地区公民館ごとに運動会を開催する。                 </td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>                     地区公民館での運動会は、健康維持や世代間、各集落間の交流のため欠かせないものとして定着した。                      地区公民館単位では運動会開催が難しくなっている地区もあるが、公民館合同で開催をしているところもある。                      地域住民も楽しみとしているため、今後も工夫を凝らしながら継続していきたい。                 </td> </tr> </table>	活動内容	地区公民館運動会の開催 地域住民の健康維持及び世代間交流に資するため、地区公民館ごとに運動会を開催する。	自己評価	地区公民館での運動会は、健康維持や世代間、各集落間の交流のため欠かせないものとして定着した。 地区公民館単位では運動会開催が難しくなっている地区もあるが、公民館合同で開催をしているところもある。 地域住民も楽しみとしているため、今後も工夫を凝らしながら継続していきたい。	
活動内容	地区公民館運動会の開催 地域住民の健康維持及び世代間交流に資するため、地区公民館ごとに運動会を開催する。					
自己評価	地区公民館での運動会は、健康維持や世代間、各集落間の交流のため欠かせないものとして定着した。 地区公民館単位では運動会開催が難しくなっている地区もあるが、公民館合同で開催をしているところもある。 地域住民も楽しみとしているため、今後も工夫を凝らしながら継続していきたい。					